

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2018-12-15

APM news 204

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

APM見学 9月29日(土)pm13:15~pm13:45/参加者:24名

「建築士の日・長岡まちなみ魅力発見隊 合同開催」



2018年9月29日(土)、新潟県建築士会長岡支部による「建築士の日・長岡まちなみ魅力発見隊 合同開催」が行われた。山古志地域を中心とした長岡市内を見学し、美しい山里・山古志の魅力と、中越地震から14年の復興の道程を、各地を巡りながら特別講師の渡辺齊氏が解説するというイベントである。

山古志地域では、稲刈り前の棚田や、水没した木籠集落の他、虫亀地区の「写真の家」、直売所「郷見庵」、やまこし復興交流館おらたる、山古志竹沢復興公営住宅などを見学する。秋山孝ポスター美術館長岡(APM)も見学場所のひとつとして行程に組み込まれ、参加者が訪れた。

APMは1925年(大正14)に建てられた大正モダニズム建築である。長岡商業銀行として建てられたこの歴史的建造物は、1929年(昭和4)に六十九銀行に合併、1942年(昭和17)に北越銀行宮内支店、1970年(昭和45)には田上商店倉庫となり、2009年(平成21)にAPMとして開館した。APMとなってからも2009年の長岡市都市景観賞受賞や2016年(平成28)に国の登録有形文化財登録など歴史を刻んできた。APMのリノベーションを請け負った(株)高田建築事務所の会長であり、APMサポーターズ倶楽部会長の高田清太郎氏は、APMを開館することになった経緯や、リノベーション時の苦労などを説明した。

2004年(平成16)には中越地震があり、APMも被害を受けた。美術館として開館する前だが建物は存在しており、新潟県内で約3,000もの家屋が全壊する中、大正生まれのAPMは倒壊することなく残った。その後、リノベーションを経て美術館へと生まれ変わるのだが、南側外壁の窓ガラスはひび割れたままになっている。これは中越地震の時にできた亀裂で、現在は危険でないよう保護のガラスが設置されている。このガラスのひび割れが魅力的だと私は思う。APMを案内するとき、職員が雄弁に解説するよりも、ひび割れたガラスがただそこにあるだけで説得力が生まれる。長岡まちなみ魅力発見隊の参加者も興味深そうにそのガラスを眺めていた。

APMの建造物には93年の歴史がある。銀行だったころ、倉庫だったころ、そして今は美術館である。戦争も地震も経験し、宮内の町とともに年を重ねてきた。これからも新しい歴史を重ねつつ、今までの歴史を伝え続けていきたい。(森山奈帆・APM職員)